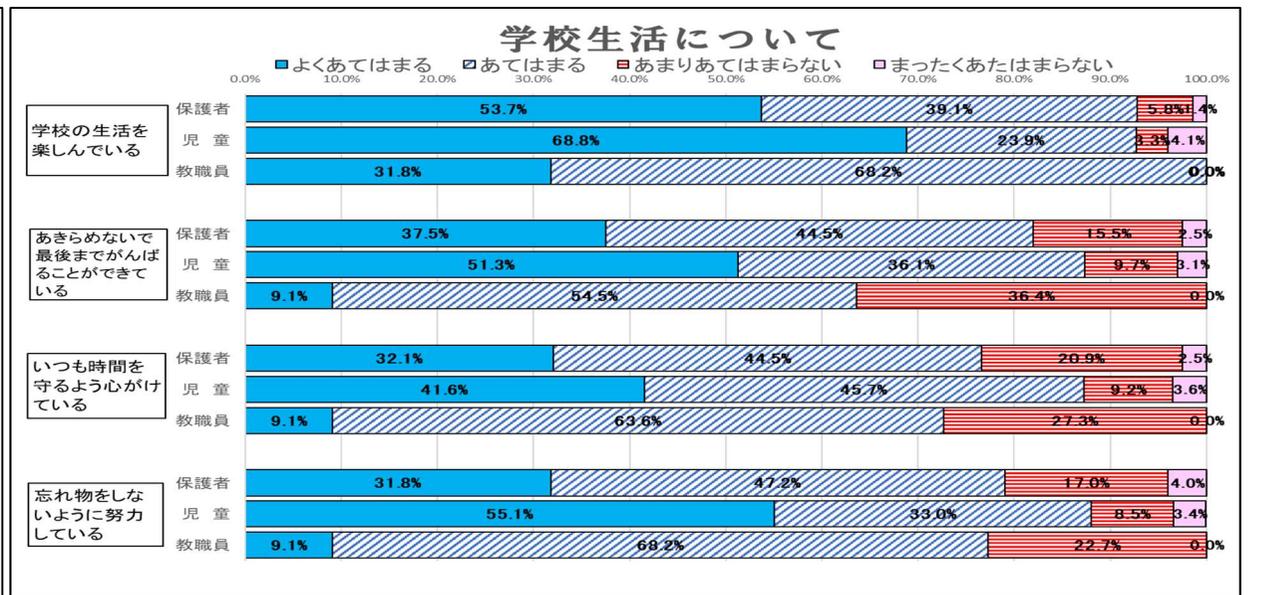
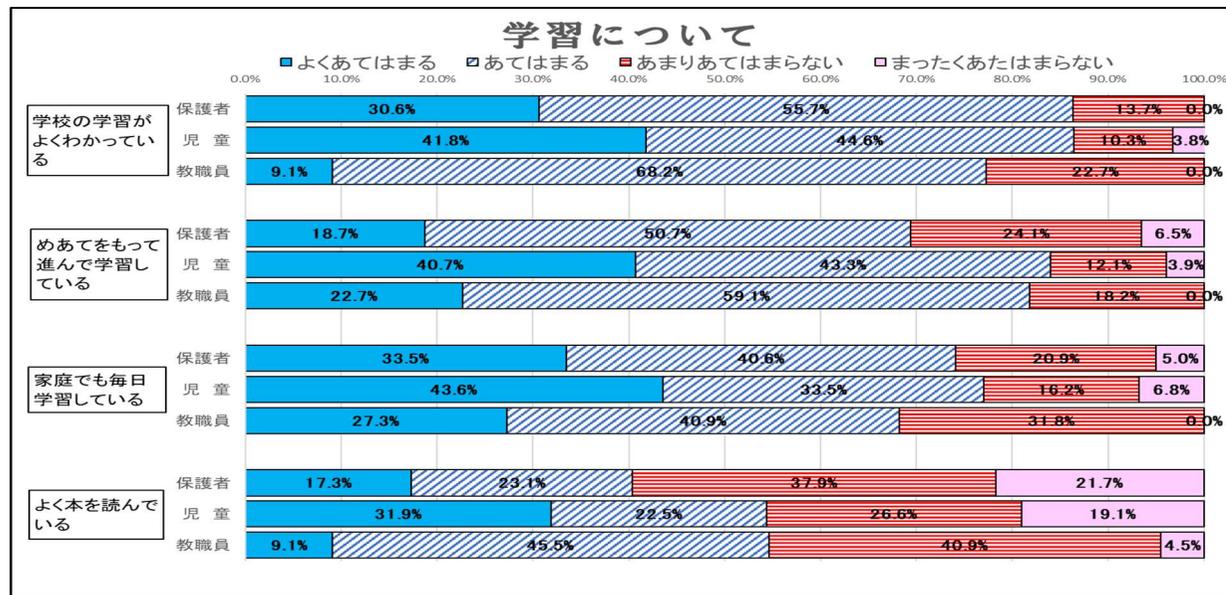


【立野小教育活動に関するアンケート】結果

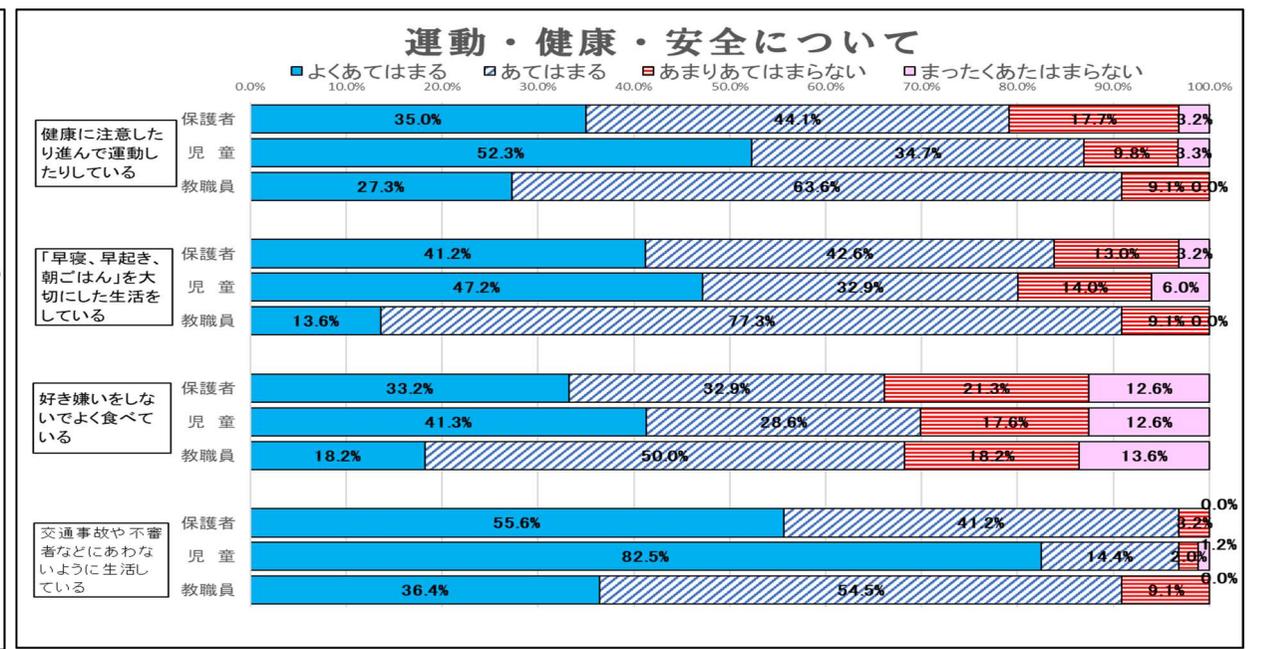
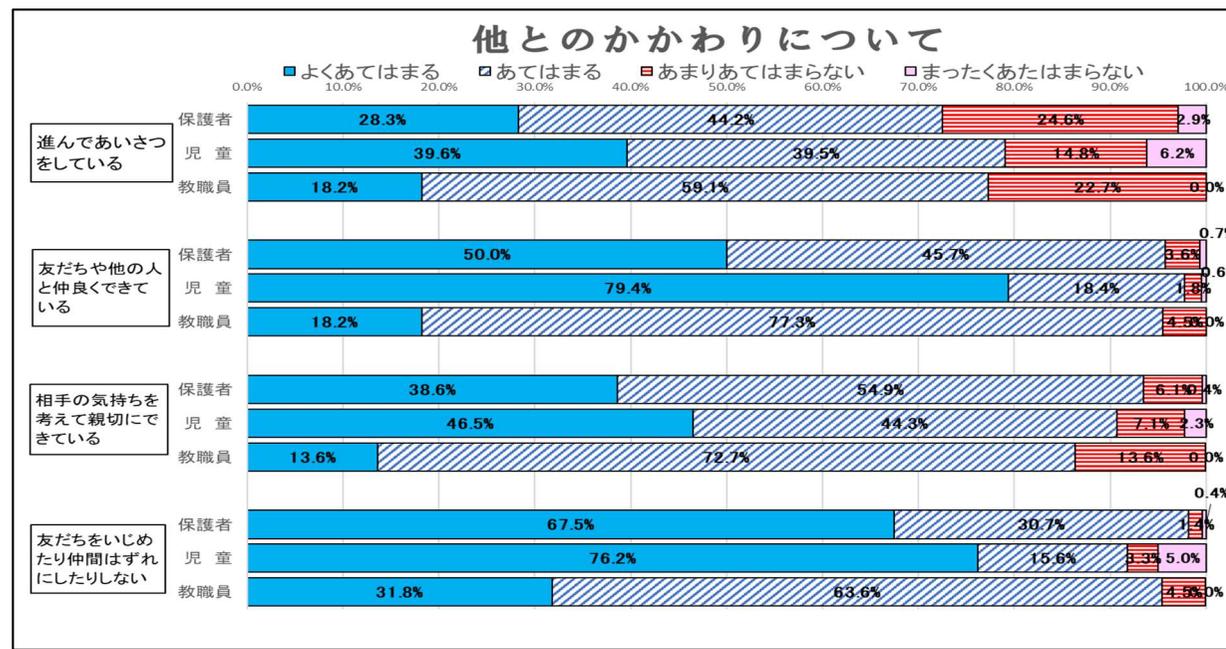
I 児童の学習・生活の様子について(児童・保護者・教職員対象)

※「よくあてはまる」と「あてはまる」をあわせた割合を『十分』と、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を『不十分』として記述しています。



- ・1項目の学習理解については、『十分』となる割合の三者の平均が80%をこえ(昨年度と比較しても3%増)となっています。また、「家庭学習」についても、保護者、教職員の『十分』の割合が、昨年度は上回る事ができなかった70%を上回る結果となりました。児童の学習への取組が向上していることが見られます。
- ・「よく本を読んでいる」については、昨年度と同様に他の項目と比べ、『十分』の割合が低くなっています。今後も、学校、家庭での読書習慣をつけていくことが課題となります。

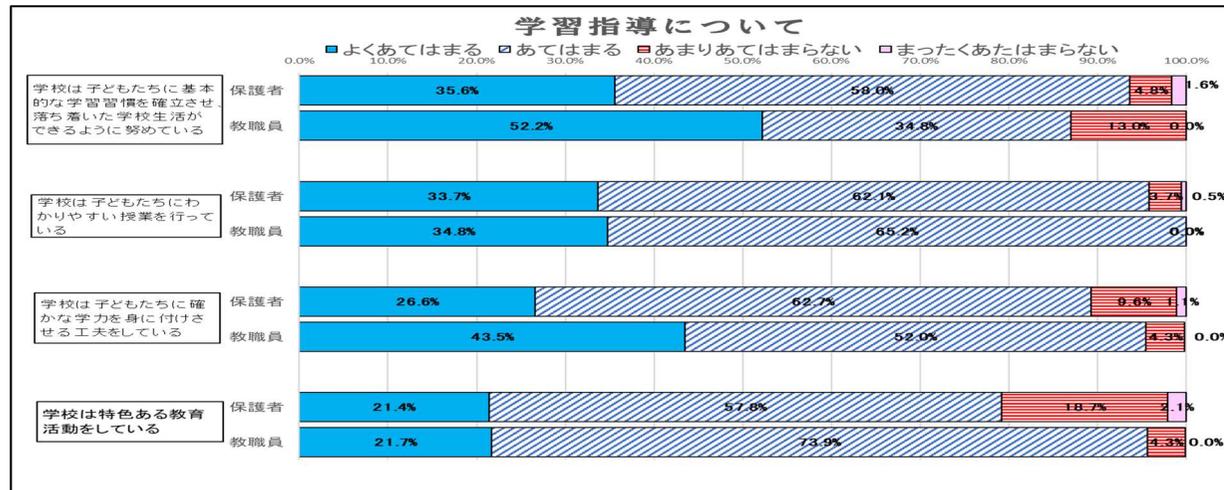
- ・「学校生活を楽しくしている」については、『十分』の割合が平均95%程と非常に高く、子供たちが学校生活を楽しくしていることがわかります。また、「忘れ物をしない」については、昨年度と比べ『不十分』の割合が、2.4ポイント減となりました。
- ・2項目の「あきらめなくてがんばる」では、教職員の『十分』の割合が67%程で、昨年度と比べても割合が低下しています。子供たちが目標に向かって頑張り達成していく成功体験を増やしていきたいと考えます。



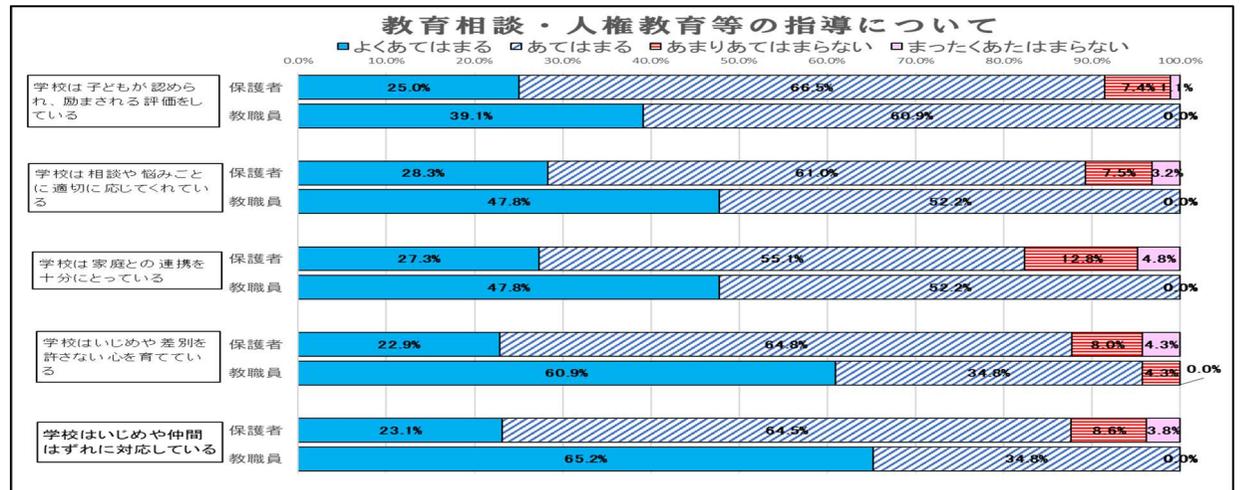
- ・「あいさつ」では、『十分』の平均割合が、80%には届きませんでした。立野小は「あいさつ日本一」を目指して指導をしています。今後も、いつでも、どこでも「進んであいさつができる」児童を育てていくことが目標です。
- ・2～4項目は、『十分』の平均割合が、いずれも90%をこえています。子供たちは、他者とのかかわりを大切にしていることがわかります。しかし、友だちとのトラブルやいじめが、「0」というわけではありません。相手を思いやる日常での言動について継続的な指導、人権教育や道徳教育の推進、「なかよしタイム」での縦割り班活動の充実などをとおして、思いやりの心を育成していくことについても、引き続き取り組んでいきます。

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」については、『十分』の平均割合が85%程度となり、昨年度より5ポイント増となりました。家庭の協力によるものであると思います。ありがとうございました。学校保健委員会では、高学年や保護者を対象に睡眠に関する学習講座を実施しました。引き続き、十分な睡眠や「朝食欠食0」への御家庭の協力をお願いいたします。
- ・「好き嫌いなく食べる」においても、『十分』の平均割合が昨年度より5ポイント増となりました。特に教職員の評価が向上しています。「給食をきちんと食べる」ことができる児童が増えてきたと思われます。コロナ禍が過ぎ、「おいしく楽しい給食」が戻ってきた効果も考えられます。

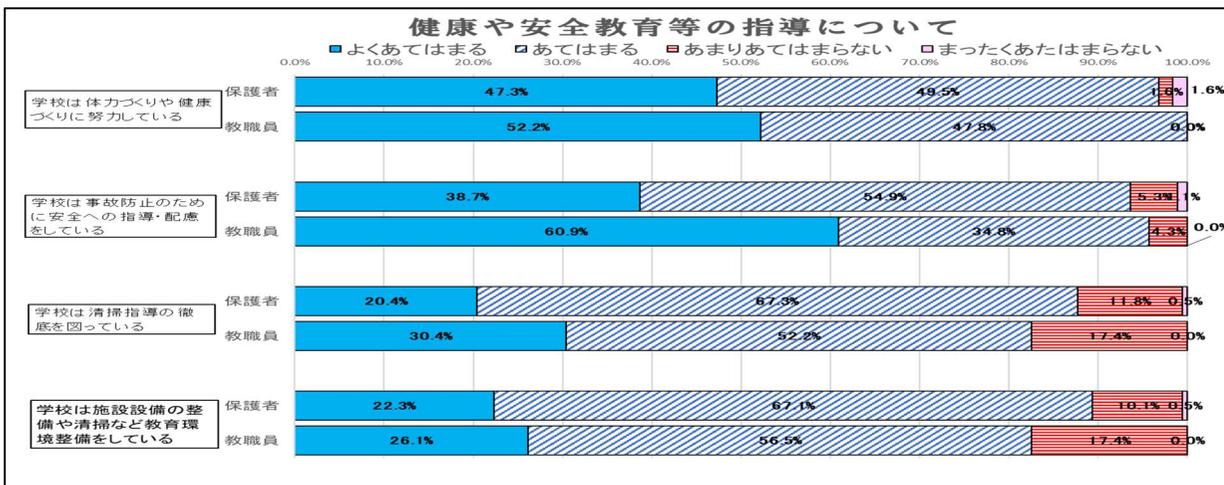
II 学校の教育活動全般について(保護者・教職員対象)



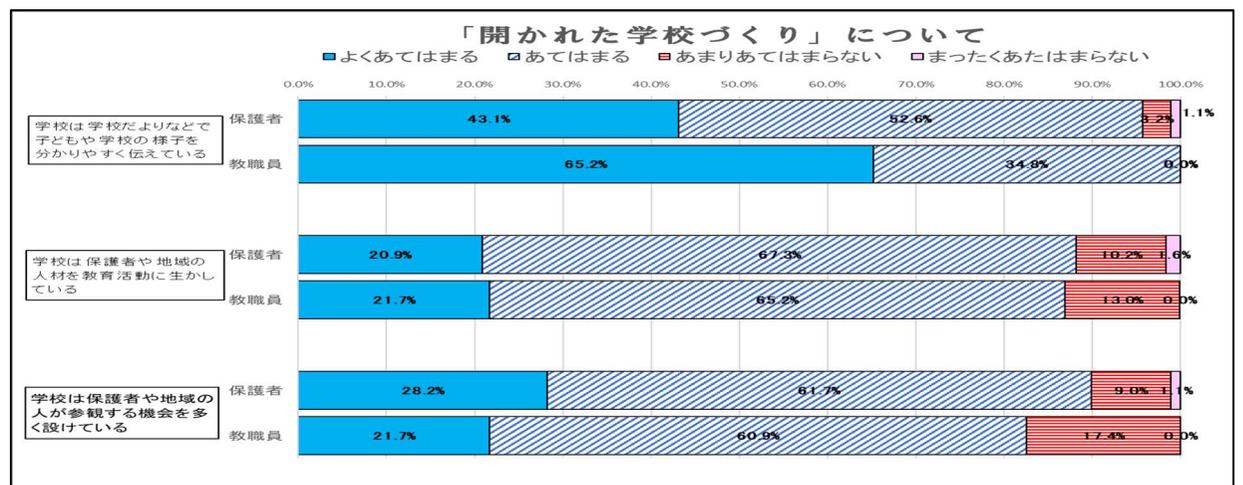
- ・1～3項目の学習指導においては、昨年と同様に、いずれも『十分』の平均割合が90%以上なっています。しかし、3つの項目とも昨年度と比べてやや『十分』割合が低下しています。今後も学習の基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、ICTの効果的な活用を取り入れながら、魅力的な授業づくりに取り組んでいきます。
- ・「特色ある教育」は、『十分』の平均割合が87%程度となり、昨年度よりも7ポイント増となりました。これは教職員の割合が増加したことによります。保護者へも本校らしい教育活動について理解を得るよう今後も取り組みます。



- ・この領域は、5項目ともに『十分』の平均割合が90%をこえています。しかし、保護者からは『不十分』という意見もあります。今後も、児童と教職員、保護者と教職員のコミュニケーションの充実を図っていききたい考えます。
- ・いじめについては、保護者の方からも「心配している」との意見をいただきました。学校では、トラブルやいじめについて、「生徒指導委員会」を中心に組織的に速やかに対応しています。



- ・「体力、健康づくり」については、昨年度に引き続き、大変良い成果(『十分』の割合が全項目中最高値)が出ています。今後も引き続き、充実した指導をしていきます。
- ・「清掃指導」については、『十分』の割合が、他と比べて割合がやや低くなっています。清掃が行き届かないところが見れます。今後は、清掃の仕方等についても見直し、清掃指導に取り組んでいきます。



- ・1項目目の学校の様子の発信については、保護者の『十分』の割合が昨年度より、やや増加しました。学校だよりや学級通信、学校HPへ関心をもってご覧いただいている方が多いことがうかがわれます。今後も、よりタイムリーな情報を提供していきます。
- ・学校と保護者、学校と地域との連携・協力については、『不十分』との意見が見られます。今後、学校運営協議会におきましても、今後の学校づくりについて協議していきます。

【来年度への教育活動の重点】

◎ 読書習慣の定着

- ・図書室の計画的な活用をしていきます。
- ・図書委員会等を中心に読書を推進するイベントを行います。
- ・「家読(家庭で読書)」を推進していきます。

◎ あいさつ運動の継続

- ・進んであいさつできるように学校全体で取り組みます。
- ・場に応じたあいさつを身につけることを目指します。

◎ いじめのない安心できる学校づくり

- ・道徳科や学校生活の指導をとおして人権教育を充実させます。
- ・生徒指導を着実にを行い、いじめには組織的に対応します。

◎ 交通安全の強化

- ・PTA、地域と連携・協力をはかり、児童の交通安全意識を高めます。

◎ きれいな学校を目指して(清掃について)

- ・清掃の仕方等を見直しをしていきます。
- ・児童だけではきれいにできないところは、清掃ボランティアを募り、清掃に協力してもらうようにします。

◎ 学校行事の充実

- ・運動会について、多くの意見をいただきました。春日部の全校が午前中開催となっております。来年度も半日開催でも充実した運動会となるよう取り組んでいきます。保護者の参観場所等について改善していきます。

◎ 「地域」で学ぶ

- ・地域で学び校外学習を充実させていきます。
- ・保護者、地域の方のゲストティーチャー、学習ボランティアの活用を充実させていきます。